

令和6年度前期 檜山支部活動報告

1 はじめに

本年度の会員は16名。事務局体制としては、昨年度と変わらず、事務局運営をしています。

会 長～佐々木 弘司(今金中) 副 会 長～能代 淳司(北檜山中)
 南部副事務局長～成田 紗知子(奥尻中) 北部副事務局長～細川 龍哉(北檜山中)
 事 務 局 長～鈴木 優斗(江差中)

2 研究内容

《研究主題》 『わかってできる、楽しい体育の授業展開を目指して』
 《目指す児童・生徒像》 『生涯に渡り、運動を通して心身ともに健康な子』

研究の視点

- ①運動の特性を理解し、意欲的に取り組む子…生徒が意欲的に運動を楽しむ姿を引き出す工夫。
 「する」、「見る」、「支える」、「知る」の視点を意識した授業づくり
- ②仲間と共に学習し、協力し合える子…学習形態や話し合い方法の工夫。ICTの有効的な活用方法。
 協働的・課題解決的な場面を多く設定した授業展開の構築
- ③粘り強く頑張れる子…「できた、わかった、楽しかった」に繋げる工夫。
 個に応じた課題の設定、「何を学び」、「何ができた」が見える授業と評価の確立。

3 今年度の取組

運動量や活動時間を確保しつつ ICT 機器を単元や生徒の実態に合わせて活用し、活用方法の交流と検証を続けている。また、生徒自身に単元内の練習プランを練るなど生徒の思考場面を確保し、自身だけでなく他者からの振り返りやフィードバックを重点的に行っている。

- 研究大会で成果や課題を交流する予定である。
- ①カメラ機能を活用した相互評価や自己評価
- ②映像を活用したフォーム、やり方の確認 ③学習カードのデジタル化
- ④作戦会議資料や作戦盤の活用 ⑤ルールや技能向上のポイント調べ
- ⑥シンキングツールの活用による思考の可視化



成果 決める 焦る ひろろ 積極な 申し訳ない
 にぎやかな ラリー アンダーパス ワンバウンド 勝てる 激しい 当たる
 コントロール 意識 ワン 攻撃 良い 積極的
 少ない 取る つなが プレー チーム オーバー 低い
 打てる うまい しまう できる 試合 いく 増える
 オーバーハンド つながる ボールサーブパス やすい
 落ち着く ミス トス 悪い
 正確な よい 次回 コート レシーブ 多い つかむ 飛ぶ
 確実な バウンド 打つ いい 軽い 前回 掛け オーバーパス
 不安定な 嬉しい 教える 使い分け コツ 冷静な

バレーボール 指導ワークシート

2年 1組

指導テーマ: オーズ

指導の目標: サーズ得点をいらす

指導案(1グループ15分)

時	生徒の活動	指導者の働きかけ	ポイント(コツ)
15分	・おれぞれ奥さん、(土波と下波の別)コート分けをせよ	・オーズを見せよ	・強く打て
15分	練習	・半分は分けて見せよ	・低いボールは取れない
15分	・おれぞれ奥さん、(土波と下波の別)コート分けをせよ	・おれぞれ奥さん、(土波と下波の別)コート分けをせよ	・7クワの人選
まとめ			

必要な用具: バレーボール、ネット

4 今年度の研修及び研究大会について

11月に江差中学校 鈴木 優斗 教諭に授業をおこなっていただき、研究大会を実施する予定。各校の保健体育の状況の交流も合わせて行う予定。